

学校教育目標

自らをきりひろく たくましい児童の育成

研究主題

対話し、学びを深める児童の育成
～場面に応じたファシリテートを通して～

本校で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	知識及び技能 各教科・領域等で求められている知識・技能を身に付けている。ICT 活用の力
思考力・判断力・表現力等	表現力 様々な方法で、相手意識や目的意識を明確にして表現している。 伝えるための具体的な方法を考え、それらを織り交ぜた表現をしている。
学びに向かう力・人間性等	自信・主体性・協働性 自ら課題をもち、粘り強く追究し、自信をもち。互いのよさを生かして協働している。

「紙とデジタル」の比較 ～どちらを用いることが妥当なのか～



「対話」 自分の考えを他者と比較したり、新たな考え方を獲得したり、議論したりする。
対話（自己・他者・事象） 場面（単元並びに授業展開の各場面）

思考を深め、豊かな表現につなげる

教師のファシリテーション

- 【場のデザイン】 ①目的や目標の理解 ②話しやすい雰囲気づくり ③話合いの進め方の設定
 【対人関係】 ④発言の受け止め ⑤意見の引き出し ⑥話合いの方向付け
 【構造化】 ⑦あいまいな意見の明確化 ⑧多様な視点から話し合わせる ⑨議論の可視化
 【合意形成】 ⑩対立による話合いの活性化 ⑪対立の解消 ⑫意見の一致を図る
 ※単元において、重点的に行うファシリテーションを決め実践していく。

「表現力」の土台の育成

表現の基礎スキル

教師の引き出し

「きはら学びのステップ」
→学習リーダーの児童を中心とした活動をさせることで、「表現の基礎スキル」の向上につなげる。

音読集暗唱
→様々な詩の豊かな表現にふれ、表現力の向上につなげる。

読書活動の推進
→読書活動の推進により様々な表現にふれ、表現力の向上につなげる。

作文作品挑戦
→作文を書く活動により、思いや考えを文字にして表現する力の向上を図る。